



やぐもだい

令和5年11月30日
調布市立八雲台小学校
校長 上田 義孝
<http://www.chofu-schools.jp/yagumodai-sho/>

「情報通信機器」

校長 上田 義孝

学習発表会のご参観ありがとうございました。子どもたちがひたむきに頑張って発表している様子や、丹精込めて作り上げた作品をご覧いただけたことと思います。担任や学年・専科で決めた発表のテーマに向かって、日々練習・創作を重ねてきました。お子さまの発表や展示に成長の姿を感じていただければ幸いです。

さて今日は、情報機器についてです。学校でタブレットとして使用しているのがICT機器です。ICT (Information Communication Technology) 日本語に訳せば「情報通信技術」。学校で使うタブレット以外にも、パソコン、スマートフォン、スマートウォッチ・・・などがあります。このICT機器を利用してのSNS (Social Networking Service) つまり、Web上での社会的ネットワークサービスの、正しい使用方法について、本校でも指導しています。授業の中でタブレットを使用する際には、授業内容に正対した使い方を指導しているほか、授業内容に結びつかない使用をしないよう、指導を工夫しています。

そして、学習に結び付けて、個別最適で協働的な学習を進めています。

ご家庭ではいかがでしょうか。小学生の子どもたちにはICT機器やゲーム機器、さらにはSNSのすべての機能を使用させることは、時期尚早といえるでしょう。子どもの発達段階に合わせ、ご家庭での話し合いに基づき、使い方を進展させることが必要と考えます。子どもたちの使うICT機器やゲーム機器には、情報通信機能やSNSのチャット機能が備わっているものが多くあります。そのため、学校では学校以外での情報機器の活用を含め、八雲台小SNSルールに基づき、指導を行っています。

最近ご家庭で保護者のスマートフォン等を使用して、ゲームをしている子どもも多いように聞こえてきます。慌ただしい夕刻の時間に、子どもが静かにしてほしい手立てとして、スマートフォンやゲーム機器を渡して、家事を進めていく。夕飯の支度が整い席に着くように促すと、「もうちょっと」「今、いいところだから」・・・と、やめることもできず、10分、20分と続けてしまう・・・。電子ゲームが普及する前は、テレビが一般的でしたが、今ではYouTubeやTikTok。とはいえ保護者の皆様も忙しい毎日。そして気づくと子どもがゲームでのネット課金に結びつきそうな場面。このように考えていくと、様々な問題と関連して、整理がつかなくなってしまうそうです。

また情報通信機器による文字でのコミュニケーションは、誤解を生みやすいという特徴もあります。

大丈夫ですか？

もう、いいです。

このような、やり取りのメッセージは、曖昧なことばで、「大丈夫か」という問いに対して「もう、大丈夫になりました」ともとれますし、「もう、気にしないでください」ともとれますし、「もう、連絡してこないでください」ともとれてしまいます。

会話で伝わる、顔の表情、イントネーションや音声の強弱などは、文字では伝わりません。それぞれの送り手の心が伝わりにくい問題があり、誤解を生むことも多くあるようです。さらには、このような言葉に傷つき、自らの命まで傷つけようとする事例も報道されています。私たちの便利な道具ICT機器が、人の命に係わる重大なことにつながることも忘れてはいけません。

ぜひご家庭でも、今一度、様々なICT機器やゲーム機器の使い方についてお子さんと確認しあってみてください。時代の進化とともに、新たに生まれる課題です。